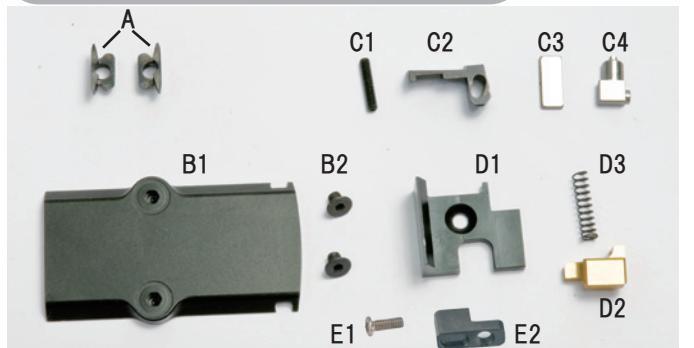


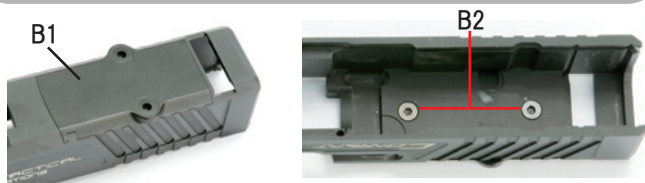
DETONATOR RMR ドットサイト対応 Glock スライド組込説明

パーツリスト



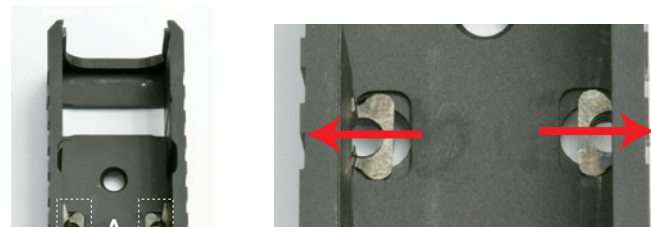
- A…ナット x2
B1…スライドカバー x1
B2…皿ネジ x2 個
C1…イモネジ x1
C2…エキストラクター x1
C3…磁石 x1
C4…エキストラクタープランジャー x1
D1…セレクトーパーツ 1 x1
D2…セレクトーパーツ 2 x1
D3…セレクトースプリング x1
E1…極低頭ネジ x1
E2…スライドストップノッチ強化パーツ x1

1. スライドカバーを組み込む場合



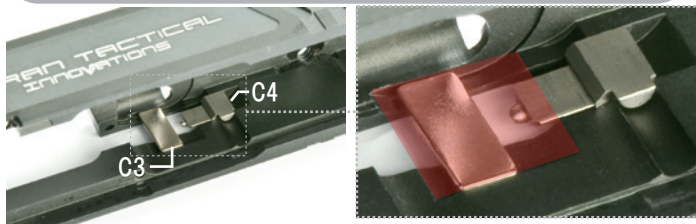
ブリーチを組み込む前に、左図のように B1 をスライドの上に載せて、右図のようにスライドの内側で B2 を使って固定してください。

1.RMR ドットサイトを組み込む場合



ブリーチを組み込む前に、A をスライドの内側にはめ込み（左図参照）、上図の矢印方向へ動かしてください。

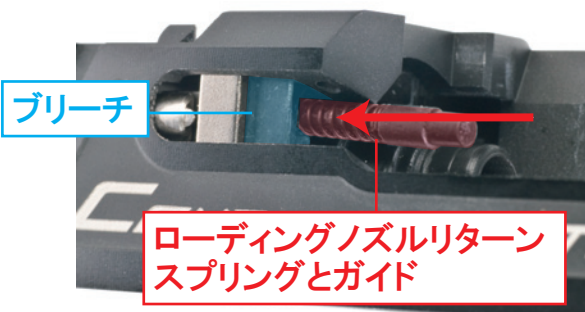
2. ブリーチの組込



C3 と C4 を上図のようにスライドにはめ込みます。C3 を右図の赤いへこみの中にはみこんでください。赤いへこみの外にはみ出すと、ブリーチを組み込むことができません。



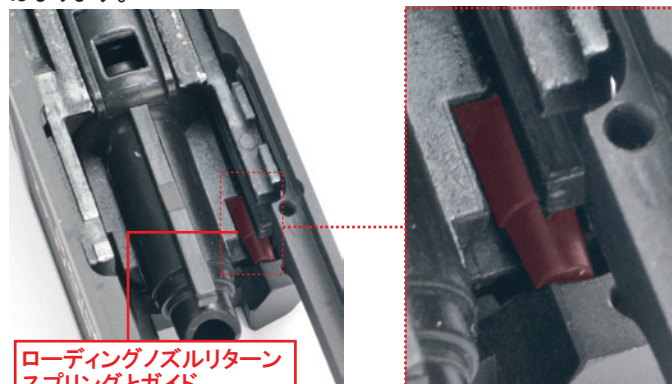
スライドの右側面を下側に向けた状態で、ブリーチを組み込みます。ローディングノズルリターンスプリング (#18C-14) とガイド (#18C-15) を抜いた状態で組込んでください。（※注意：C3 がへこみの外にはみ出している状態で、無理してブリーチを組み込むと、C3 が破損する恐れがあります。）



ブリーチ

ローディングノズルリターン
スプリングとガイド

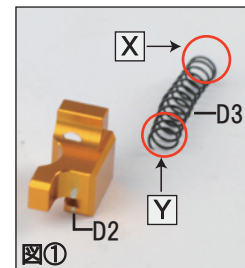
ブリーチをスライドに組込んだ後、ブリーチを少し下げます。ローディングノズルリターンスプリングとガイドを上図のようにブリーチに入れたあと、ブリーチを本来の位置に戻します。下図のようにはまります。



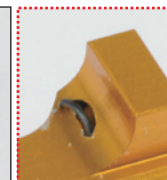
ローディングノズルリターン
スプリングとガイド

エキストラクターより先にセレクトーパーツを組み込むことをお勧めします。

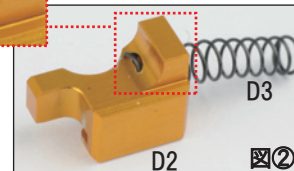
3. セレクトーパーツの組込



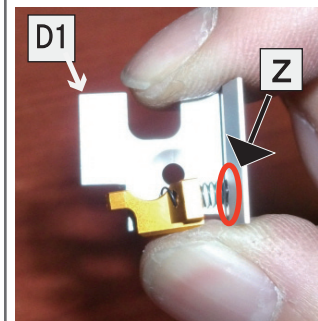
図①



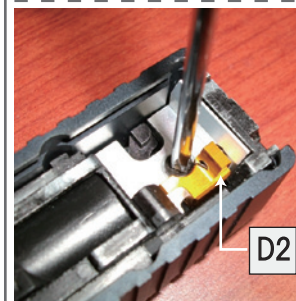
D3(スプリング)の Y を図②のようにD2の穴に通します。



図②

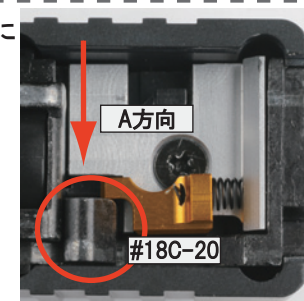
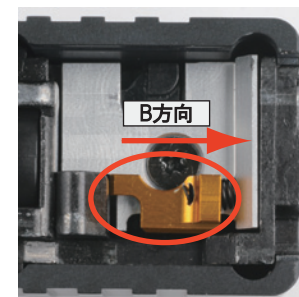


D1の Z のところに穴があります。先程組込んだD2とD3を右図のように Z へ入れます。



D2を押さえながら、左図のようにネジ (#18C-22)で固定します。

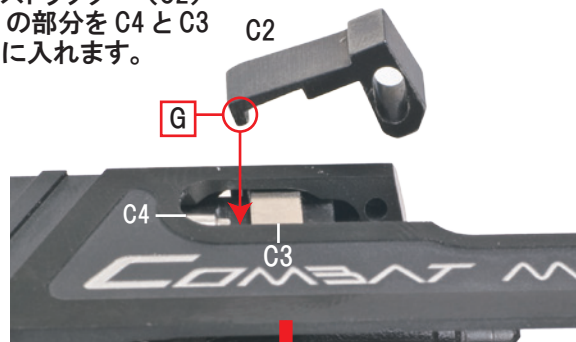
セレクトーパーツ(#18C-20)A方向に押すと、セミオートになります。



D2をB方向押すと、フルオートになります。

4. エキストラクターの組込

エキストラクター (C2)
の G の部分を C4 と C3
の間に入れます。

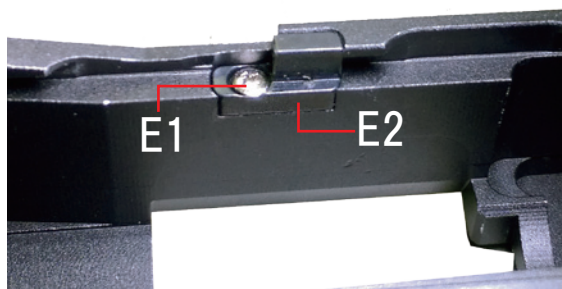


C2 を左図のように矢印方向へ
移動させ、C2 の穴 H に C4 を
はめ込みます。



ネジ C1 を左図の赤い
丸の位置に締め込むと
、エキストラクターが
固定されます。

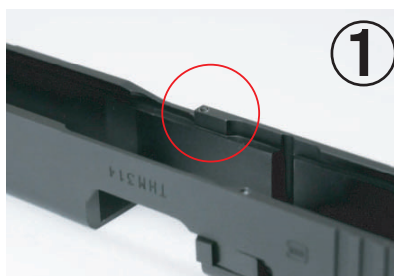
5. スライドストップノッチの組込



スライドストップノッチ強化パーツ (E2) をはめ込み、ネジ (E1)
で固定します。このネジは最後まできっちり締め込んだ上で、
ネジロック等で緩まない様に固定して下さい。

※緩んだ状態で作動させた場合、作動不良やスライドの破損につながる恐れ
があります。

6. スライド組み方 / 外し方



スライドストップノッチのめくれ防止の為、①の赤丸の形状が
純正と異なり、スライドをフレームに組み込む際、②の赤丸
部分と干渉してしてしまいます。その為、純正と同じ方法
ではスライドを組み込む事が出来ません。



- ③の様に、スライドを斜め方向
(矢印A方向) にフレーム後部の
レールあわせ、スライドさせます。
- 丸印Bの部分と矢印Cの部分が①
の位置に来たらスライドを下ろし (矢印D方向)、
フレームに乗せます。



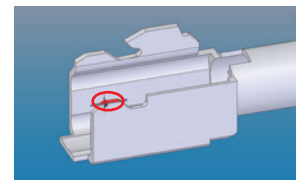
- スライドを矢印E方向に引く
ことにより、固定されます。
- 分解の際は、上記手順と逆
の手順で行って下さい。

RMR ドットサイトを装着する際



実物と各メーカーのレプリカの
Trijicon RMR ドットサイトの
ベース部分の厚みがそれぞれ
違います。RMR ドットサイトを
固定するためのネジを 3 種類
付属させています。お手持ち
のドットサイトに合う長さ
をご使用ください。

スライドの動きが悪い時は



組込み本体との相性により、作動
が悪い場合があります。その際
は、赤色の部分を 0.3 ~ 0.5mm
ヤスリ等で削って下さい。